



国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata

八街ロータリークラブ週報

<http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimataarc/>

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール

毎週水曜日 12:30～13:30

電話 043 - 443 - 3021

FAX 043 - 443 - 7221

創立 1966年(昭和41年)5月22日



イマジン
ロータリー

RI会長：ジェニファーE. ジョーンズ
Windsor-Roseland RC (カナダ)

会長 竹村 信彦 ・ 会長エレクト 小久保 和子 ・ 副会長 川崎 堯信 ・ 幹事 川崎 堯信

第57巻 第16号

通巻 第2663号

2023. 1. 25発行

第2662回 2023年1月11日例会報告

【会長挨拶】

直前会長 笹川 英一

【出席報告】

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
1/18	24	17	7	70.83		
12/21	24	21	3	87.5	1	91.67
会員総数 25名						
(名誉会員 3名 ・ 出席免除会員 3名)						
通算出席率 82.43%						
12/21メークアップ1名・笹川会員(理事会)						



本日は竹村会長、川崎幹事、小久保会長エレクトのお三方が揃ってお休みです。

仲良し三人組で温泉にでも出かけているのでしょうか？

加えまして一月のお誕生日、並びに記念日の方もすべておいでにならないという事なので、記念品のプレゼンターのお役もありません。

昼食後のひと時、もうすでに瞑想状態に入っている方も数名いらっしゃるようですので妨げることなく会長代理挨拶を切り上げさせて頂きたいと思います。

点 鐘 直前会長 笹川 英一

斉 唱 君 が 代

ソ ン グ 四つのテスト



【幹事報告】

副幹事 小澤 孝延



◎会長幹事会のご案内

日時：令和5年1月19日(木) 18時から
場所：割烹 河太郎

◎白井RC例会変更のお知らせ

1月30日(月)夜間移動例会
成田山新勝寺→菊屋

◎受贈週報…八日市場RC

八街RC 2月例会スケジュール	
2月 1日(水)	理事会・通常例会
2月 8日(水)	3クラブ合同新酒を楽しむ会 (大畑会員の駐車場16時出発)
2月15日(水)	振替休会
2月16日(水)	IM(大畑会員の駐車場12時半 出発)
2月22日(水)	休 会



【会員卓話】

高橋 宏一会員



～稲盛和夫さんの奥さんについて～

皆さんこんにちは。今回は突然の指名ですが、昨年亡くなられた京セラの創業者「稲盛和夫」さんの奥様にまつわるお話をしてみたいと思います。稲盛和夫さんについては、京セラの創業者、第二電電の創業者、上場廃止になったJALを無報酬で再上場など数えきれないほどの業績を上げられた方で、皆様もよくご存じですので、省かせていただきまして、今日はあまり報道されない奥様の朝子さんとその先祖にまつわる隠されたお話をしたいと思います。このことについては2～3年前に毎日新聞に連載され後の出版物になった自叙伝「思い邪なし」に述べられています。

稲盛朝子さんは旧姓須永と言いまして、稲盛さんが鹿児島大学の卒業して最初に就職した京都市にあった松風工業という会社の同僚女子社員でした。一人住まいで生活していた稲盛さんが、毎日梅干し一つの粗末なお弁当をもって務めていたのを見て、須永朝子さんも同様にまだ恵まれた生活を営んでいたわけでもなかったのですが、稲盛さんのお弁当を作って差し入れて一緒に食べたりしていたそうです。稲盛和夫さんは勤めていた松風工業（この会社は送電線に使う碍子を作る会社です。）の経営風土になじめず、何人かの社員と一緒に松風工業を飛び出して、京都セラミックという会社を創業しました。その時須永朝子さんも稲盛和夫さんに

ついて行って、二人は間もなく結婚することになりました。

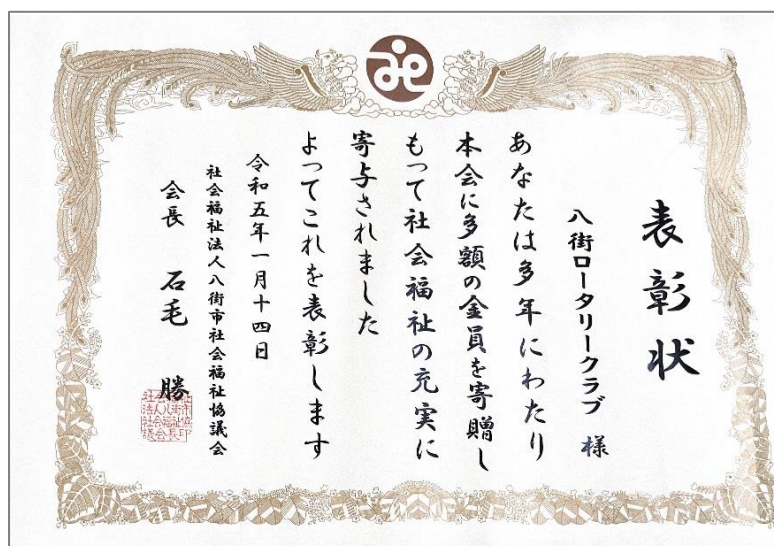
須永朝子さんの父親は、須永長春といいます。（朝子さんは6人兄弟兄妹の四女です）。父親の須永長春は、朝鮮語では禹長春（ウ・チョウシュン）といい、東京大学農学部実科で研修を終え、豊島区の西が丘や埼玉県鴻巣にあった国の農事試験場に技師として務め、花や野菜の品種改良に努めました。中でも花のペチュニアの品種改良では、当時誰もが出来なかった全八重（オールダブル）の作出という偉業を成し遂げました。それに目を付けた坂田武夫（サカタのタネの創業者）が、その作出法と彼の協力で、世界中にサカタ種苗の名を広めることになりました。その後京都市にあるタキイ種苗が、今の京都府長岡京市に設立した長岡研究農場長に場長として迎えました。そこで主としてアブラナ科の育種に励み、白菜やキャベツの品種改良を進め、今日の世界に誇るタキイ種苗の発展に大きく寄与しました。日本ではそのほかに宮城県の渡辺採種場にも白菜の品種改良について多大な影響を与えています。その後タキイ長岡研究農場の同僚で、韓国から来ていた金鐘が、当時ひどく疲弊している韓国の農業を救うのは、禹長春しかない、韓国への呼び寄せ（招聘）運動がおこり、渡韓することになりました。当時の韓国では、韓国にとって欠かせないキムチの原料である白菜は、栽培してもバラバラで、結球するものは半分以下、病害にも弱く農家は栽培に困難を極めておりました。時代は違うとはいえ、犯罪者・国賊（後述）の息子を招聘するのには反対運動もあったようですが、禹長春は

最終的には国を挙げて迎え入れられました。そしてアブラナ科の品種改良に務め、韓国農業の発展改良に務め、その後「韓国の農業の父」と呼ばれ、教科書にも載るようになって韓国では知らない人がいないということになりました。その後韓国最高の勲章も授与されています。韓国に渡った翌1950年、朝鮮戦争が勃発。中央園芸技術院（国立試験場）院長に就任した1953年には、最愛の母死すの報を受け、日本帰国を大統領にまで嘆願したが、帰国は叶わなかった。李承晩大統領は禹を帰すと再び韓国に戻らないのでは、と懸念し出国許可を下ろさなかったと伝えられている。また日本語しか話せず、状況は非常に困難であったと思われるが、朝鮮戦争で苦しむ国民に希望を与えるとともに、1955年頃には大根や白菜は自給態勢を整えるまでに持っていった。また高冷地でのジャガイモ、収量の多い稲の栽培にも精力を注いだ他、済州島近辺をミカンの大生産地とした。

それでは禹長春はなぜ朝鮮の名前なのか。禹長春の兄弟三人は、いずれも農業関係の研究者で日本で活躍した。禹長春の父（稻盛朝子の祖父）は朝鮮国王王妃（閔妃ミンピ）暗殺事件に参加した軍人禹範善（ウハンゼン）で、範善が日本に亡命してきて、日本人女性・酒井ナカと結婚、須永家に養子に入った。そして日本で生まれたのが禹長春である。父の範善は過去に閔妃を暗殺したため、1903年11月24日、禹長春が6歳の時にかつて閔妃に仕えていた高永根に広島県の呉で暗殺されている。

（一部ウィキペディアから引用させていただきました。）

2023年1月14日(土)八街市社会福祉大会が開催され、
当クラブが表彰されました。



地域ぐるみポスターと標語
の八街ロータリークラブ賞に
選ばれた小学生の方に竹村会
長より賞状の授与が行われま
した。



広報・公共イメージ向上委員会 萬来 謙一・小澤 孝延